

社会福祉学科

科目名: 心理学と心理的支援			担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	社会福祉士受験資格(必修)、精神保健福祉士受験資格(必修)、介護福祉士受験資格(必修)、福祉心理士			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						心理臨床の実務経験に基づき、精神障害の理解、心理アセスメントの技法、心理臨床の事例検討などについても授業展開の中に盛り込んでいる。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
①人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。 ②人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解する。 ③日常生活と心の健康との関係について理解する。 ④心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解できる。					ストレス、感情、認知、社会、発達、心理的支援				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)						
			1. 2. 5. 6.						
A 知識・理解力			心理学の基礎知識について理解している						
C 論理的思考力			人間の行動や心理について科学的、客観的に思考する基礎的な力を身に付けている。						
E 自己管理能力			自己について理解を深めることで自己管理能力を高める						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	50 %
特記事項: 自発的な授業時間外学習および積極的授業参加に基づいて成績評価を行う。クリッカーを用いた双方向型授業を行います。また第15回目は、ポスターツアーによるプレゼンテーションを行います。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 初回時に授業の進め方および評価方法を説明します。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 主体的に学習できるように、学習到達度について毎回フィードバックします。									
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)			
						学習内容			学習に必要な時間(分)
①心理学とは(心理学の歴史と対象、心を探る方法の発展)						【予習復習】心理学の学問領域		30	
②動機づけと適応						【予習復習】クエス1: 動機づけ		180	
③感情・情緒						【予習復習】クエス2: 感情		180	
④感覚・知覚・認知						【予習復習】クエス3: 感覚・知覚・認知		180	
⑤学習・行動						【予習復習】クエス4: 学習		180	
⑥記憶・知能						【予習復習】クエス5: 記憶・知能		180	
⑦性格						【予習復習】クエス6: 性格		180	
⑧対人関係と集団: 社会心理						【予習復習】クエス7: 社会心理学		180	
⑨生涯発達(発達課題と発達段階、認知・言語・愛着・道徳性の発達)						【予習復習】クエス8: 発達		180	
⑩心の健康とストレス						【予習復習】クエス9: ストレス		180	
⑪精神障害・知的障害						【予習復習】クエス10: 精神障害・知的障害		180	
⑫発達障害・認知症						【予習復習】クエス11: 発達障害・認知症		180	
⑬心理学的アセスメントと心理的支援の基本的技法						【予習復習】クエス12: 心理アセスメント		180	
⑭心理療法における介入技法の概要						【予習復習】クエス13: 心理療法		180	
⑮福祉における心理的支援と心理専門職						【予習復習】ポスレベルクエス: 福祉における心理的支援		240	
使用テキスト: 指定テキストはありません。必要な参考資料は、図書館等で自ら収集してください。						その他参考文献など: 心理学事典[平凡社]; 心理学辞典[有斐閣]; 心理学辞典[丸善]; アイゼンク教授の心理学ハンドブック[ナカニシヤ出版]			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): クエス型授業によるアクティブラーニングで学びます。履修学生同士が協働しながら、心理学の概要を楽しく学びます。学ぶことに喜びを感じるようになることが、この授業の第一の目標です。参加しないと損しますよ。									

社会福祉学科

科目名: 高齢者福祉			担当教員 氏名: 中村尚紀			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	社会福祉士受験資格(必須) 介護福祉士受験資格(必須) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか			介護支援専門員・社会福祉士・精神保健福祉士・認知症専門棟相談員の実務経験を活かして、高齢者支援の実際や専門職との連携について教える内容を含める。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
高齢者の生活を取り巻く社会環境や高齢者福祉の歴史や制度を理解する。また高齢者の生活課題を踏まえて、社会福祉士としての支援のあり方を理解する。					高齢者の特性、社会環境、高齢者福祉の歴史、法制度、介護保険制度、支援	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			高齢者を取り巻く社会環境や福祉の歴史、法制度を理解する。			
B 専門的技術			高齢者支援に関連する機関や専門職の役割を理解する。			
C 論理的思考力			高齢者に対する法制度の現状を理解し課題を考えることができる。			
D 問題解決力			高齢者の生活課題を踏まえ解決策を考えることができる。			
G 倫理観			高齢者とその家族の支援に必要な倫理を理解する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 30 %		発表: 10 %		実技試験: % その他: 10 %
特記事項: その他として、授業に対する参加度や態度を含む。 アクティブラーニングの一環としてグループワークや発表を行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 期末テストを行う。(レポートの場合あり) 毎回授業の感想						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートはコメントをつけて返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション、高齢者の定義と特性				【予習】第1章を読む 【復習】第1章のまとめ	【予習】120分 【復習】120分	
②高齢者の生活実態				【予習】第2章を読む 【復習】生活実態をまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
③高齢者を取り巻く社会環境				【予習】第2章を読む 【復習】社会環境をまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
④高齢福祉の理念				【予習】2章を読む 【復習】戦前の高齢者福祉	【予習】120分 【復習】120分	
⑤高齢者観の変遷				【予習】2章を読む 【復習】戦後の高齢者福祉	【予習】120分 【復習】120分	
⑥高齢者福祉制度の発展過程				【予習】2章を読む 【復習】歴史をまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑦介護保険法				【予習】4章を読む 【復習】老人福祉法	【予習】120分 【復習】120分	
⑧介護保険制度のサービス				【予習】5章を読む 【復習】介護保険法	【予習】120分 【復習】120分	
⑨老人福祉法				【予習】5章を読む 【復習】介護保険サービス	【予習】120分 【復習】120分	
⑩高齢者の医療の確保に関する法律				【予習】5章を読む 【復習】介護保険サービス	【予習】120分 【復習】120分	
⑪高齢者虐待防止法				【予習】3章を読む 【復習】生活ニーズ	【予習】120分 【復習】120分	
⑫バリアフリー法、高齢者住まい法など				【予習】3章を読む 【復習】介護の概念	【予習】120分 【復習】120分	
⑬高齢者支援における関係機関と専門職				【予習】9章を読む 【復習】介護技法	【予習】120分 【復習】120分	
⑭関連する専門職の連携				【予習】9章を読む 【復習】介護予防	【予習】120分 【復習】120分	
⑮高齢者と家族等に関する支援の実際				【予習】介護についてまとめる	【予習】120分	
使用テキスト: 最新・社会福祉士養成講座専門科目2『高齢者福祉』中央法規 ISBN: 978-4-8058-8245-0 「みんないきいき介護保険」、株式会社 社会保険出版社				その他参考文献など: 『高齢社会白書』内閣府		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 配布するプリントは整理しておいてください。						

看護学科

科目名: 生涯人間発達学				担当教員 氏名: 石津 孝治					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			臨床心理士としての心理臨床経験に基づき、事例を提示し、理解を深める。						
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード				
誕生から死に至るまでの心理学的な発達のプロセスについて学ぶ。主に発達の節目における、認知的、人格的、社会的な特徴について取り上げる予定であり、その際、内面的、力動的な観点を重視する。しかし、最近の発達心理学による客観的な知見もできるだけ素材として取り上げたい。					・発達課題 ・関係性の中での発達				
授業における学修の到達目標									
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)									
A 知識・理解力			それぞれの節目における発達の特徴が理解できる						
C 論理的思考力			発達の連続性について理解できる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	100 %	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	%
特記事項:									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストを採点し返却。									
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)					
				学修内容	学修に必要な時間(分)				
①乳児期の発達の特徴について学ぶ(乳児期の知覚、基本的信頼感、個人差)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
②幼児期の発達の特徴について学ぶ(分離個体化、愛着)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
③学童期の発達の特徴について学ぶ(認知発達、対人関係)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
④思春期の発達の特徴について学ぶ(自己の発達、対人関係)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑤青年期の発達の特徴について学ぶ(大人になること、同一性形成)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑥成人期の発達の特徴について学ぶ(生殖性、生産性と中年期危機)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑦老年期の発達の特徴について学ぶ(人生の受容と絶望)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習20分			
⑧発達の本質について学ぶ、まとめ				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。		復習30分			
⑨試験									
使用テキスト: 服部祥子「生涯人間発達論 第3版: 人間への深い理解と愛情を育むために」 医学書院 ISBN978-4260041331				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 客観的な研究では把握し難い、発達の内面的な領域について重点を置いて扱います。理解を深めるには、講義の素材を自分のこととして考えたり、また、自分なりに想像することが求められます。この作業を大事にしてください。									